

令和5(2023)年度 社会福祉法人あかつき福祉会

**【決算書】**

社会福祉法人あかつき福祉会

# 令和5(2023)年度 社会福祉法人あかつき福社会 決 算 書

## 目 次

### 【事業報告書】

あかつき福社会の1年	1
1. 令和5(2023)年度全体概要報告	2
2. 法人本部(総務課)	4
3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり	
①就労継続支援B型事業	6
②生活介護事業	8
4. わんすてっぷ	10
5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園	
①園管理運営事業	12
②生活介護事業	14
③施設入浴サービス事業	16
④社会福祉増進事業	17
6. 地域生活総合支援センター	
①共同生活援助事業・日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業	18
②居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業	20
③相談支援事業	22
7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況	24
8. 地域参加・交流状況	29
9. 職員研修実施状況	30
10. 実習生受入状況	31
11. ボランティア受入状況	32
12. 視察・見学状況	33
13. 講師派遣状況	34
14. 役員名簿	35
15. 組織図	37
16. 職員内訳	38

## 【計算書類】

1. 法人単位資金収支計算書	39
2. 法人単位事業活動計算書	40
3. 法人単位貸借対照表	41
4. 計算書類に対する注記	42
5. 決算附属明細書	45
①固定資産管理台帳、固定資産増減明細表	46
②寄附金収益明細表	50
③補助金事業等収益明細書	51
④基本金明細書	52
⑤国庫補助金等特別積立金明細書	53
6. 社会福祉事業区分	
①資金収支内訳表	54
②事業活動内訳表	55
③貸借対照表内訳表	56
7. 瀬川拠点区分	
①資金収支計算書	57
②事業活動計算書	59
③貸借対照表	61
④計算書類に対する注記	62
〈決算附属明細書〉	64
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	65
②引当金明細書	66
③事業活動明細書	67
④積立金・積立資産明細書	68
⑤サービス区分繰入金明細書	69
⑥就労支援事業別事業活動明細書（多機能型事業所等用）	70
⑦就労支援事業製造原価明細書（多機能型事業所等用）	71
⑧就労支援事業販管費明細書（多機能型事業所等用）	72
⑨事業未収金明細表	73
⑩未収補助金明細表	73
⑪未収金明細表	73
⑫前払金明細表	73
⑬立替金明細表	73
⑭事業未払金明細表	73
⑮職員預り金明細表	75

8. 西小路拠点区分	
①資金収支計算書	76
②事業活動計算書	78
③貸借対照表	80
④計算書類に対する注記	81
〈決算附属明細書〉	83
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	84
②引当金明細書	85
③事業活動明細書	86
④積立金・積立資産明細書	87
⑤サービス区分繰入金明細書	88
⑥事業未収金明細表	89
⑦事業未払金明細表	89
9. 地域生活総合支援センター拠点区分	
①資金収支計算書	90
②事業活動計算書	92
③貸借対照表	94
④計算書類に対する注記	95
〈決算附属明細書〉	97
①基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	98
②引当金明細書	99
③事業活動明細書	100
④積立金・積立資産明細書	101
⑤サービス区分繰入金明細書	102
⑥事業未収金明細表	103
⑦未収補助金明細表	103
⑧立替金明細表	103
⑨前払金明細表	103
⑩事業未払金明細表	104
10. 財産目録	106

令和5(2023)年度 社会福祉法人あかつき福祉会  
事業報告書

社会福祉法人あかつき福祉会



# あかつき福祉会の1年 -令和5(2023)年度-

2023年4月



ミニ入所式  
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

5月



所外活動(乗馬体験)  
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉



所外活動(五月山公園)〈わんすてっぶ〉

6月



春の散策(荒巻バラ園)〈ささゆり園〉



ホテル観賞(親水公園)〈支援センター〉

7月



ピアノ演奏会〈ささゆり園〉

8月



地域のお祭り参加〈支援センター〉

9月



福祉ネイル体験  
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

10月



所外活動(大阪市立科学館)  
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

11月



あかつきまつり



園外活動(神戸アトア)〈ささゆり園〉



所外活動(ららぽーとエキスポシティ)  
〈わんすてっぶ〉

2024年1月



西南ちいきみんな食堂  
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

2月



ご当地カップ麺大会  
〈あかつき園・ワークセンターささゆり〉

3月



年度末報告会〈ささゆり園〉

# 1. 令和5(2023)年度全体概要報告

## (1) 第三者評価の受審

【法人本部(総務課)】

11月にささゆり園、12月にあかつき園・ワークセンターささゆりにおいて3年振りとなる大阪府福祉サービス第三者評価を受審し、全62審査項目のうち約85%（前回約50%）で最も高いa評価を受けることができた。

## (2) 新規利用者の受け入れ対応

【箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり】

4月から2名の新規利用者を受け入れた。毎日の通所に不安がある利用者ではあったが、本人や家族の状態やニーズをふまえた支援方法を検討・実施したことで当該2名の令和5年度利用率は約95%であった。

## (3) 医療的ケア対応増への対応

【箕面市立障害者福祉センターささゆり園】

より多くの利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修（実地研修）を7月に実施した。異動による職員1名が受講し、利用者10名に対して4行為の医療的ケアが新たに実施できるようになった。

また、医療的ケア対応が増加するなかで、看護師3名体制を維持するとともに利用者の状況によっては4名体制で対応した。

## (4) グループホームにおける居宅介護サービスの充実

【地域生活総合支援センター】

第9つながりの家の利用者4名が新たに居宅介護サービスを利用開始したこと、居宅介護の有資格者を新たに6名確保できたことにより、年間の居宅介護サービス提供時間は4,152.5時間（前年度比+621時間）となった。

## (5) 相談支援の収入増に向けた取組

【地域生活総合支援センター】

一般相談からの移行で、新たに6名と計画相談の利用契約を行った。一方、利用者の逝去により3名の計画相談を終了した。これにより年度末時点での利用契約者数は116名（前年度比+3名）となった。

## 【令和5(2023)年度実施事業等】

### 1. 法人本部(総務課)

### 2. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり <指定管理>

- 【実施事業】 ①生活介護事業 定員 70名  
②就労継続支援B型事業 定員 10名

### 3. わんすてっぷ

- 【実施事業】 生活介護事業 定員 15名

### 4. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園 <指定管理(④を除く)>

- 【実施事業】 ①園管理運営事業  
②生活介護事業 定員 20名  
③施設入浴サービス事業  
④社会福祉増進事業

### 5. 地域生活総合支援センター

- 【実施事業】 ①共同生活援助事業 定員 28名  
(第2つながりの家)  
②日中サービス支援型共同生活援助事業/短期入所事業  
(第11つながりの家) 定員 8名/1名  
③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業  
(ヘルパーステーション「ウイズ」)  
④相談支援事業  
(ウイズ)

## 2. 法人本部（総務課）

### (1) 概要

- 11月にささゆり園、12月にあかつき園・ワークセンターささゆりにおいて3年振りとなる大阪府福祉サービス第三者評価を受審し、全62審査項目のうち約85%（前回約50%）で最も高いa評価を受けることができた。
- 法人の会計処理の適正性を確保するため、監査法人による自主監査を受審し、指摘箇所について適宜改善を行った。
- 地域生活総合支援センターにおいては順調な収支状況を維持したが、あかつき園・ワークセンターささゆりで赤字が継続していること、ささゆり園で医療的ケア対応増に伴う看護師等の人員体制強化を図ったことから、法人全体の収支差額は219万円（前年度比▲646万円）となった。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	利用者支援記録DBの改善と運用定着化	○利用者支援記録DBの運用環境の改善のため、4月にワークセンター棟のWifi機器の入れ替えを行った。 ○支援の記録や請求データの作成のさらなる効率化も見据えて、10月に市販の支援記録ソフトのデモを受けた。
2	虐待防止・サービス向上の取り組み	○虐待防止セルフチェック（8月・2月）及び虐待防止・サービス向上委員会（9月・3月）を、各年2回継続的に開催した。 ○7月から2月にかけて4つのグループで事例検討会を開催するとともに、3月の経営企画会議で各会の検討状況について報告・共有を行った。 ○11月より他施設での事故や虐待事例を紹介し注意喚起を図るコンプライアンス情報周知の取組を開始した。
3	第三者評価の受審	○11月にささゆり園、12月にあかつき園・ワークセンターささゆりにおいて3年振りとなる大阪府福祉サービス第三者評価を受審し、全62審査項目のうち約85%（前回約50%）で最も高いa評価を受けることができた。
4	新長期計画の推進	○長期計画PT会議を3ヵ月ごとに開催し進捗状況や課題について確認した。
5	人材確保・育成	○ハローワーク求人やインターネット媒体を活用して継続的に募集活動を行ったところ、支援職員1名・臨時職員6名の採用につながった。 ○ハローワーク等での直接雇用の応募が減少傾向にあることから、人材派遣会社から継続的に派遣職員を受け入れた。 ○1月に計数管理等をテーマとした正規職員研修を開催し16名が受講した。
6	地域交流の促進・広報活動の強化	○10月に「あかつきまつり」を開催した。ステージイベントや抽選会を実施し、近隣地域より575名（前年度比+約100名）の来場者があった。 ○11月に「みんなおいでよ交流会」「いきいきふれあい広場」、1月に「西南ちいきみんな食堂」に参加した。 ○ブログを年144回（月平均12.0回）更新した。 ○広報誌「あかつきだより」を3ヵ月ごとに発行した。
7	外部監査の受審	○法人の会計処理の適正性を確保するため、監査法人による自主監査を受審し、指摘箇所について適宜改善を行った。
8	収支状況の改善	○あかつき園・ワークセンターささゆりの生活介護事業は、支出削減に努め赤字幅は改善したものの、利用契約者4名減に伴って収支差額は▲836万円（前年度比+235万円）となり、依然として大幅な赤字となった。 ○ささゆり園の生活介護事業は収入に大きな変化はないが、増加傾向にある医療的ケアを要する利用者支援の充実のため、看護職員等の増員を図ったことから収支差額は23万円（前年度比▲895万円）となった。 ○地域生活総合支援センターは、グループホーム・居宅介護・移動支援の利用が堅調に推移したことから、収支差額は775万円（前年度比▲392万円）を確保することができた。 ○地域生活総合支援センターにおいては順調な収支状況を維持したが、あかつき園・ワークセンターささゆりで赤字が継続していること、ささゆり園で医療的ケア対応増に伴う看護師等の人員体制の強化を図ったことから、法人全体の収支差額は219万円（前年度比▲646万円）となった。

9	経営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あかつき園建て替えについて箕面市と継続的に協議を行った。</li> <li>○あかつき園・ワークセンターささゆりの収支状況から指定管理料の見直しについて箕面市と協議を行い、令和6年度から指定管理料の見直しを実施することとなった(4,419万円→5,600万円)。</li> <li>○自主事業(生活介護等)の拡大に向けて、情報収集等を行ったが、新規物件の確保には至らなかった。</li> </ul>
---	---------	---

### (3) 今後について

- あかつき園建て替えの基本計画策定等にむけて、箕面市との協議・対応を継続して行っていく。
- 令和6年度が指定管理期間の最終年度となるささゆり園について、次期の指定管理に向けた検討・対応を図っていく。
- 令和5年度に受審した第三者評価結果をふまえ、指摘事項への対応について計画を策定のうえ改善を進めていく。

### (4) 理事会・評議員会等開催状況

理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 令和5年6月8日</li> <li>・第2回 令和5年6月23日</li> <li>・第3回 令和5年9月12日</li> <li>・第4回 令和6年3月28日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>案件 = 令和4(2022)年度決算 など</li> <li>案件 = 理事長の選定 など</li> <li>案件 = 臨時職員就業給与規則の一部改正 など</li> <li>案件 = 令和6(2024)年度事業計画及び予算 など</li> </ul>
評議員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 令和5年6月23日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>案件 = 令和4(2022)年度決算 など</li> </ul>
評議員選任 ・解任委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催なし</li> </ul>	
運営協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 令和5年6月2日</li> <li>・第2回 令和6年3月21日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>案件 = 令和4(2022)年度決算 など</li> <li>案件 = 令和6(2024)年度事業計画及び予算 など</li> </ul>

# 3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

## <就労継続支援B型事業>

### (1) 概要

- 社会スキルの向上を目的に「お金の使い方等について」学ぶ活動を新たに提供し、所外活動においても食事やお土産の購入等で実践した。
- 前年度より取り組み始めたペット用シャンプーの詰替作業について、自助具等も工夫しながら取り組み、作業として定着し、売上も前年度の2倍以上となった。
- 不安定な社会情勢のなかでも箕面市指定ごみ袋の供給を安定的に行うため、12月に入札を実施し次年度の必要数を確保できる態勢を整えた。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	コロナ禍後の所外活動の計画的実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感染対策に留意しながら、5月に鶴見緑地公園「咲くやこの花館」、11月に神戸「アトア」への所外活動を実施した。</li> <li>○社会スキルの向上を目的に「お金の使い方等について」学ぶ活動を新たに提供し、所外活動においても食事やお土産の購入等で実践した。</li> <li>○敷地内での冬のイベントとして、2月に「ご当地ラーメン大会」を実施し、利用者からも好評を得た。</li> </ul>
2	多様な働く機会や社会生活に必要な経験の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○箕面市障害者事業団での体験実習として、花壇管理・植物リースに2名が延べ20日間（前年度2名・延べ19日間）参加するとともに、今年度は喫茶部門にも1名が9日間参加した。</li> <li>○前年度より取り組み始めたペット用シャンプーの詰替作業について、自助具等も工夫しながら取り組み、作業として定着し、売上も前年度の2倍以上となった。</li> </ul>
3	第三者評価の受審	<ul style="list-style-type: none"> <li>○12月に第三者評価を3年振りに受審した。</li> <li>○全62審査項目のうち約85%で最も高いa評価を受けることができた。また、前回1件あったc評価は0件であった。</li> </ul>
4	製袋事業の安定運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不安定な社会情勢のなかでも箕面市指定ごみ袋の供給を安定的に行うため、12月に入札を実施し次年度の必要数を確保できる態勢を整えた。</li> <li>○ごみ袋在庫のあかつき倉庫から環境クリーンセンター内倉庫への移送については、移送距離が長く物量も多いため時間を要することがネックであったため、次年度からは外部業者への委託に切り替えることとした。</li> </ul>
5	虐待防止・サービス向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミーティング等で虐待防止等の意識付けを継続的に行うことで、8月の虐待防止セルフチェックで結果が低下していた6項目について、2月の同セルフチェックで結果を改善することができた。</li> <li>○虐待防止研修は現場で直接支援をしている職員グループと運転・添乗など間接的に支えるグループに分けて実施することとし、12月から2月にかけて各グループの職務に合った内容で研修を実施した。</li> <li>○利用者対象の施設内での健康診断（7月）、歯科検診（10月）、インフルエンザ予防接種（11月）をそれぞれ実施した。</li> </ul>
6	感染症対応の継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>○10月に感染症認定看護師による実地指導を受けた。支援現場での感染症対策の取組についての助言を受けて、さらなる感染症対策に取り組んだ。</li> <li>○新型コロナ5類移行後は、状況を見極めながら個々の感染症対策の継続・緩和・終了を判断・実施した。</li> </ul>
7	利用率向上・収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ感染不安が軽減したことにより、長期間の自主休所等はなかったため、平均利用率は91.3%（前年度比+1.6%）に改善した。</li> <li>○訓練等給付費収入は934万円（前年度比+1万円）、収支差額（就労支援事業を除く）は153万円（前年度比+223万円）であった。</li> </ul>
8	新規利用者の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談支援事業所を通じて1名の実習受け入れを行ったが、利用契約には至らなかった。また、支援学校等へ新規利用者の紹介を依頼したが、利用契約には繋がらなかった。</li> </ul>

### (3) 今後について

- 引き続き製袋事業の安定的な運営に向けて、安定供給に向けた仕入事業者やシェア事業所、箕面市との調整を図っていく。また、在庫置き場として  
いる環境クリーンセンターについては、引き続き配送効率の改善策等を検討・実施していく。
- 新規利用者の確保に向けて、相談支援事業者や支援学校等との連携強化を図っていく。

### (4) 主な活動内容

#### ①生産活動

ア) 主な生産活動内容及び収入

	令和4年度	令和5年度
箕面市指定ごみ袋の生産	97,271,645円	88,304,829円
館内清掃	100,000円	100,000円
ペットシャンプーボトル詰め替え	32,601円	73,128円
計	97,404,246円	88,477,957円

イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃額（特別工賃を含んで換算）

令和4年度	令和5年度	前年度比
14,067円	13,215円	93.9%

#### ②施設外実習

実習先	参加人数（実数）	参加延べ日数	職 種
箕面市障害者事業団	2名	20日	緑化部門（花壇管理等）
	1名	9日	喫茶部門

#### ③その他の活動

- 健康活動（ラジオ体操、ウォーキング、ダンス等）
- 創作活動（ペーパークラフト、手芸等）
- 社会活動（地域清掃等）
- 所外活動（花博記念公園鶴見緑地、神戸アトア）

### (5) 在籍者状況（令和6年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和5年度	6名	32.7歳	14.7年	91.3%	5.5名
令和4年度	6名	31.7歳	13.7年	89.7%	5.5名

令和5年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	0名	3名	3名	0名	0名

# 3. 箕面市立あかつき園・ワークセンターささゆり

## <生活介護事業>

### (1) 概要

- 4月から2名の新規利用者を受け入れた。毎日の通所に不安がある利用者ではあったが、本人や家族の状態やニーズをふまえた支援方法を検討・実施したことで、当該2名の当年度の利用率は約95%となった。
- 12月に第三者評価を3年振りに受審し、全62審査項目のうち約85%で最も高いa評価を受けることができた。また、前回1件あったc評価は0件であった。
- 年度途中の逝去、転居、入所施設への移行に伴う利用契約者減に伴い、介護給付費収入は1億8,265万円（前年度比▲472万円）となり、支出削減にも努めたが収支差額は▲836万円（前年度比+235万円）であった。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	関係機関との連携強化	○利用者のグループホーム入居、ショートステイ体験利用等に際して送迎時間の調整を図るとともに、円滑な利用開始に向けて各事業所や相談支援事業所等との調整・対応を行った。
2	コロナ禍後の所外活動の計画的実施	○新型コロナ5類移行に伴い、以前よりも遠方に出かけたり公共交通機関を利用したりするなど所外活動の幅を広げた。 ○カラオケ活動などコロナ禍では控えていた活動も、感染防止には配慮しながら再開した。
3	新規利用者の受け入れ対応	○4月から2名の新規利用者を受け入れた。毎日の通所に不安がある利用者ではあったが、本人や家族の状態やニーズをふまえた支援方法を検討・実施したことで、当該2名の当年度の利用率は約95%となった。
4	第三者評価の受審	○12月に第三者評価を3年振りに受審し、全62審査項目のうち約85%で最も高いa評価を受けることができた。また、前回1件あったc評価は0件であった。
5	施設改修、チーム編成の検討・実施	○利用者の日々の活動やニーズを再考して4月に利用者のチーム編成を見直した。 ○あかつき園建て替えを見据えて、1月以降ワークセンター棟の一部改修（個室整備、作業室拡大）を行った。さらに利用者支援と事務作業を効率的に進められるよう1階作業室内に事務スペースを移転させた。
6	虐待防止・サービス向上の取り組み	○ミーティング等で虐待防止等の意識付けを継続的に行うことで、8月の虐待防止セルフチェックで結果が低下していた6項目について、2月の同セルフチェックで結果を改善することができた。 ○虐待防止研修は現場で直接支援をしている職員グループと運転・添乗など間接的に支えるグループに分けて実施することとし、12月から2月にかけて各グループの職務に合った内容で研修を実施した。 ○利用者対象の施設内での健康診断（7月）、歯科検診（10月）、インフルエンザ予防接種（11月）をそれぞれ実施した。
7	感染症対応の強化	○10月に感染症認定看護師による実地指導を受けた。支援現場での感染症対策の取組についての助言を受けて、さらなる感染症対策に取り組んだ。 ○新型コロナ5類移行後は、状況を見極めながら個々の感染症対策の継続・緩和・終了を判断・実施した。
8	医療的ケアへの対応	○安全衛生委員会を毎月実施した。 ○喀痰吸引が実施できる生活支援員は12名で増減はなかったが、年度末に利用者1名が新たに医療的ケアの対象となったため、次年度に向けて当該利用者への医療的ケアが実施できるよう研修計画を策定した。
9	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○新規利用者2名に対し、移行等による途中退所4名、急逝による契約終了2名となり、年度末での利用契約者数は59名（前年度比▲4名）となった。 ○コロナ禍後の利用率は回復傾向にあるものの、利用率の高い利用者の退所等が影響して平均利用率は89.4%（前年度比▲0.8%）となった。 ○利用契約者減に伴い、介護給付費収入は1億8,265万円（前年度比▲472万円）となり、支出削減にも努めたが収支差額は▲836万円（前年度比+235万円）となった。

### (3) 今後について

- あかつき園建て替えにむけて、箕面市との協議・対応を継続して行っていくとともに、施設内環境の整備等に取り組んでいく。
- 第三者評価結果をふまえた改善計画の作成、対応を実施していく。
- 利用契約者を維持していくため、引き続き、支援学校2年生以上の実習を積極的に受け入れ、新規利用者の獲得につなげていく。

### (4) 主な活動内容

#### ①生産活動

##### ア) 主な生産活動内容及び収入

	令和4年度	令和5年度
箕面市指定ごみ袋の生産	1,560,000円	1,440,000円
農園芸	313,403円	378,807円
さをり製品の生産・販売	46,345円	65,920円
指編み製品の生産・販売	14,900円	29,600円
ペットボトル、アルミ缶リサイクル等	113,775円	105,190円
館内清掃	400,000円	400,000円
計	2,448,423円	2,419,517円

##### イ) 利用者1人あたりの月額平均工賃（特別工賃を含んで換算）

令和4年度	令和5年度	前年度比
545円	739円	135.6%

#### ②その他の活動

- 健康活動（機能維持訓練、ダンス、ストレッチ、ウォーキング等）
- 日常生活・社会適応訓練（外出を伴うものは実施なし）
- 創作活動（書道、手芸、季節の壁面飾り等）
- 文化活動（音楽療法、音楽活動、音楽・DVD鑑賞、紙芝居等）
- 所外活動（アンパンマンミュージアム、神戸フルーツフラワーパーク大沢、パカラッパ、神戸アトア、ニフレル、姫路セントラルパーク、エキスポシティ、舞洲、みのおキューズモール、大阪市立科学館）

### (5) 在籍者状況（令和6年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数
令和5年度	59名	33.6歳	14.7年	89.4%	54.7名
令和4年度	63名	33.1歳	14.4年	90.2%	56.5名

令和5年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	33名	19名	7名	0名	0名	0名

## 4. わんすてっぷ<生活介護事業>

### (1) 概要

- 利用者の平均年齢が57.3歳と高齢化が進むに伴い、利用者の健康状態や家庭環境の変化等について、家族や関係事業者と情報共有・意見交換を行いながら支援した。
- 利用者の移行や私的理由による欠席もあり、平均利用人数は8.7名（前年度比▲0.6名）となり、介護給付費収入は2,615万円（前年度比▲158万円）となった。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	コロナ禍後を見据えた支援の検討・見直し	○基本的な感染対策は引き続き行いながら、外出活動や行事等を実施した。
2	利用者高齢化に伴う家族・関係機関との連携強化	○利用者や家族の高齢化に伴い、利用者の健康状態や家庭環境の変化等について、家族や関係事業者と情報共有・意見交換を行いながら支援した。
3	利用者状況・家庭環境変化の的確な把握	○利用者の身体状況や家庭環境の変化をふまえ、正しい利用者基礎情報を把握するよう努め、対応した。
4	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、eラーニング動画を視聴しての研修、グループワークによる事例検討の実施などにより、次回結果の改善につなげた。 ○12月～1月に法人全体で開催した虐待防止研修に3名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援について考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した。 ○医療機関と連携し、施設内で利用者対象の健康診断(7月)、歯科検診(10月)及びインフルエンザワクチン接種(11月)を実施した。
5	感染症対応の継続	○新型コロナ5類移行後は、状況を見極めながら個々の感染症対策の継続・緩和・終了を判断・実施した。
6	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○退所者や利用者の私的理由による欠席が続いたことから平均利用人数は8.7名（前年度比▲0.6名）となり、介護給付費収入は2,615万円（前年度比▲158万円）となった。
7	再編・再整備計画の立案	○自主事業割合の拡大に向けた検討を進め、不動産会社や関係機関から物件情報の収集等を行ったが、物件の確保までには至らなかった。

### (3) 今後について

- 利用者の高齢化が進むなかで、引き続き家族・関係機関との情報共有・連携強化に取り組んでいく。
- 利用者の健康維持に向けたサービス提供を進めていく。
- 自主事業として利用者・利用率の拡大を図るとともに、今後の事業のあり方を検討していく。

### (4) 主な活動内容

- ①創作活動（手芸、折り紙、塗り絵、絵画等）
- ②文化活動（音楽鑑賞、ビデオ鑑賞、カラオケ、Wii、読書等）
- ③健康活動（健康診断、体重測定、ストレッチ、ウォーキング、バランストレーニング、健康観察、血圧・脈拍測定、歯科検診、インフルエンザワクチン接種、保湿剤塗布等）
- ④心身を整えるための活動（足浴、リラックス等）
- ⑤専門職による相談・指導  
（作業療法士・嘱託医への相談、看護師による手足爪切り、ダンス指導等）
- ⑥イベント（所外活動、ハロウィン体験）

### (5) 在籍者状況（令和6年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
令和5年度	11名	57.3歳	17.3年	86.0%	8.7名	
令和4年度	12名	56.0歳	15.9年	83.8%	9.3名	
令和5年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	2名	4名	5名	0名	0名	0名

## 5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<園管理運営事業>

### (1) 概要

- 各種講習会（要約筆記<全3回>、中級音訳<全10回>、初級手話<全35回>）を開催した。
- 12月に箕面保育園園児の皆さんの交流（福祉車両体験、クリスマスツリーの飾り付け、演奏会）を実施した。
- 3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。近隣地域の2事業所より2名の医療・福祉専門職を招いて「福祉と医療そして地域との連携」をテーマに講演会を行い、28名が参加した。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	各種講習会（要約筆記・音訳・手話）の実施	○要約筆記講習会を全3回実施し、参加者は32名であった。 ○中級音訳講習会を全10回実施し、参加者は5名であった。 ○初級手話講習会を全35回実施し、参加者は16名であった。
2	障害者等の理解促進に係る啓発事業の実施	○12月に箕面保育園園児の皆さんの交流（福祉車両体験、クリスマスツリーの飾り付け、演奏会）を実施した。 ○3月に「地域で生きる障害者問題市民講座」を開催した。近隣地域の2事業所より2名の医療・福祉専門職を招いて「福祉と医療そして地域との連携」をテーマに講演会を行い、28名が参加した。
3	新規受講者の開拓	○茶道教室（受講者7名）、華道教室（受講者6名）は毎年受講者が固定されている状況のなか、新規受講者の開拓に向けて広報活動に取り組んだところ茶道教室に新たな受講者1名を迎えることができた。
4	館内の環境整備	○会議室のパイプ椅子の買い替え、FAXや音響設備の更新、外灯の修繕を順次行った。併せて館内の設備・物品の状態の確認、不要物品の整理を半年ごとに実施した。
5	駐車場の改善の検討・協議	○令和4年度に行った改修（出入口への大型ミラーの設置、白線の引き直し、車止めの設置、新たに2台分の駐車区画の確保）について、館内利用者に周知するとともに駐車場の安全な利用について協力を依頼した。

### (3) 今後について

- 各種講習会、地域交流、障害者に関する啓発事業等を継続的に実施していく。
- 設備・備品・物品等の管理、更新等の館内環境整備について、箕面市との協議を継続的に行っていく。

### (4) ささゆり園利用状況

	令和4年度	令和5年度	前年度比
開館日数	321日	320日	99.7%
利用件数	1,530件	1,575件	102.9%
利用件数／日	4.8件	4.9件	102.1%
利用者数	17,136名	18,233名	106.4%
利用者数／件	11.2名	11.6名	103.6%
利用者数／日	53.4名	57.0名	106.7%

事業名	令和4年度		令和5年度		前年度比 (人数比)	
	件数	人数	件数	人数		
障害者社会参加促進事業	42	297	41	283	95.3%	
[内訳]	①茶道教室	21	138	21	131	94.9%
	②華道教室	21	159	20	152	95.6%
ボランティア育成事業	49	515	48	621	120.6%	
[内訳]	①手話講習会「入門・基礎課程」	35	389	35	513	131.9%
	②音訳講習会<令和5年度：中級>	11	80	10	76	95.0%
	③要約筆記講習会	3	46	3	32	69.6%
啓発事業（障害者問題市民講座）	1	36	1	28	77.8%	
貸館事業	1,438	16,288	1,485	17,301	146.8%	
[内訳]	①障害者団体	704	9,570	766	10,088	105.4%
	②ボランティアサークル	436	4,196	420	4,107	97.9%
	③外郭・行政関係	137	1,581	188	2,330	147.4%
	④その他	144	924	102	767	83.0%
	⑤IT室	17	17	9	9	52.9%
合計	1,530	17,136	1,575	18,233	106.4%	

#### ※会議室等使用団体数(令和6年3月31日現在)

- ・定期利用団体：45団体（前年度比 +1団体）
- ・随時利用団体：7団体（前年度比 ±0団体）
- 【合計】 52団体（前年度比 +1団体）

## 5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<生活介護事業>

### (1) 概要

- 新型コロナ5類移行に伴い、屋内施設への園外活動（飲食を含む）を再開した。利用者を8グループに分けて感染対策を行いながら、10月に大阪市内や神戸市内での園外活動を実施した。
- 11月に第三者評価を3年振りに受審し、全62審査項目のうち約85%で最も高いa評価を受けることができた。
- 4月に移行による新規受入が1名あったが、年度途中で利用者1名が逝去され、年度末の利用契約者数は23名（前年度比±0名）、平均利用者数は利用者の長期入院もあり16.1名（前年度比▲0.3名）であった。職員体制については医療的ケア対応増に伴い看護師の人員体制の強化等を行って対応した。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	多様な活動による支援の実施	○新型コロナ5類移行に伴い、屋内施設への園外活動（飲食を含む）を再開した。利用者を8グループに分けて感染対策を行いながら、10月に大阪市内、神戸（天王寺動物園、天保山、大阪市立科学館、神戸アトア、みなとやま水族館、カワサキワールド）での園外活動を実施した。
2	延長支援の実施	○引き続き、個別支援計画に基づき生活介護の延長支援を男性4名について実施した。また、延長支援の時間を活用して嚥下機能トレーニング等も実施した。
3	入浴支援体制の見直し	○日中活動に重点を置き入浴サービス日や開始時間等を随時調整した。 ○入浴希望者に対して他の社会資源（ホームヘルパー、訪問入浴）の情報提供を行った。
4	第三者評価の受審	○11月に第三者評価を3年振りに受審し、全62審査項目のうち約85%で最も高いa評価を受けることができた。
5	介護職員による喀痰吸引等の実施	○より多くの利用者に医療的ケアを実施するため、喀痰吸引研修（実地研修）を7月に実施した。異動による職員1名が受講し、利用者10名に対して4行為の医療的ケアが新たに実施できるようになった。 ○上記研修実施により、生活支援員等の職員17名が喀痰吸引等を実施できる体制となった。
6	虐待防止・サービス向上の取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次回のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月に法人全体で開催した虐待防止研修に22名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハットの内容を分析し、その対応について9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに、施設内で共有した。 ○市内の医療機関と連携し、施設内での歯科検診（6月）、健康診断（7月）、インフルエンザワクチン接種（10月）を実施した。 ○医療的ケア対応が増加するなかで、看護師3名体制を維持するとともに、利用者の状況によっては4名体制で対応した。
7	感染症対応の徹底と維持	○10月に感染症認定看護師による実地指導を受けた。支援現場での感染症対策の取組についての助言を受けて、さらなる感染症対策に取り組んだ。 ○職員、利用者ともに感染者は発生したが園内での広がりにはなかったため、施設休所をすることなく年間を通して営業を継続することができた。
8	医療的ケアのある利用者の地域生活支援の検討	○利用者を通して新たに2件の医療機関等とのつながりを持ち、市民講座などで訪問診療や訪問看護・介護についての情報を提供した。
9	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○4月に移行による新規受入が1名あったが、年度途中で利用者1名が逝去され、年度末の利用契約者数は23名（前年度比±0名）となった。さらにコロナによる臨時的支援が4月末で終了したことや一部利用者の長期入院などの影響があり、平均利用人数は16.1名（前年度比▲0.3名）であった。 ○介護給付費収入は7,969万円（前年度比▲25万円）となった。増加傾向にある医療的ケアを要する利用者への支援の充実のため、看護職員や支援職員の増強を図ったことから収支差額は23万円（前年度比▲895万円）となった。

### (3) 今後について

- 次期の指定管理公募に向けた対応を実施していく。
- 高まる医療的ケアニーズに対応できるよう、引き続き看護師体制の強化に努めていく。
- 医療的ケアが必要な新卒者1名の新規受け入れに伴う、支援体制の整備や家族・関係機関等との調整を進めていく。
- 第三者評価結果をふまえた改善計画の作成、対応を実施していく。

### (4) 主な活動内容

- ①行事等（プール、園外活動、忘年会、クリスマス会、年度末イベント等）
- ②健康活動（エクササイズ、足浴、エアマット、ハンモック、スヌーズレン、健康診断等）
- ③創作活動（さをり織り、組み紐、ボードゲーム作成、季節ごとの展示物作成等）
- ④文化活動（音楽演奏、カラオケ、コンサート、ボウリング、ボッチャ、園芸活動等）
- ⑤屋外活動（個別外出、地域活動、清掃活動等）
- ⑥作業活動（空き缶つぶし等）
- ⑦専門職による相談・指導（作業療法士・嘱託医への相談、音楽療法等）

### (5) 医療的ケアの実施状況（令和5年度 利用対象者 15名）

内 容		人数	内 容		人数
たんの吸引	口腔内	12名	酸素投与（緊急時含む）		3名
	鼻腔内	7名	人工呼吸器管理		2名
	気管カニューレ内部	6名	カフアシスト		2名
経管栄養	胃ろう	6名	ブジー		1名
	腸ろう	2名	浣腸（摘便）		1名
	経鼻胃管	2名	留置カテーテル		1名
経管による与薬	胃ろう	2名	導尿		1名
	腸ろう	1名			
	経鼻胃管	1名			
吸入		1名	合 計（延べ人数）		51名

### (6) 在籍者状況（令和6年3月31日現在）

	在籍者数	平均年齢	平均在籍年数	平均利用率	平均利用人数	
令和5年度	23名	42.5歳	12.0年	85.2%	16.1名	
令和4年度	23名	41.1歳	11.5年	86.7%	16.4名	
令和5年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	23名	0名	0名	0名	0名	0名

## 5. 箕面市立障害者福祉センターささゆり園<施設入浴サービス事業>

### (1) 概要

- 利用者の施設入所等に伴い、利用者数は7名（前年度比▲2名）となり、給付費収入は154万円（前年度比▲46万円）となった。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	サービスの質的向上	○入浴ヘルパー1名を採用し、新任研修及び介護技術指導を4回実施したうえで入浴業務に従事させた。
2	入浴設備更新の検討	○普通浴槽など入浴設備の老朽化が進んでいることから、設備の更新について箕面市と協議を行った。
3	入浴支援体制の見直し	○利用者が固定化・長期化するなか、新規利用者の受け入れが困難な状況がある。必要に応じて他の社会資源の情報提供や調整を行うが移行する利用者はいなかった。また、新規利用希望者もなかった。
4	入浴ヘルパーの確保	○近隣の大学等へスタッフ募集をかけるなど継続的に募集の取り組みを行い、入浴ヘルパーを1名採用した。これにより入浴ヘルパーは男性2名、女性1名体制となった。 ○入浴ヘルパーだけで対応できない部分は生活介護事業の職員で対応した。
5	利用者増に向けた取り組み	○施設入所に伴う利用終了などにより、利用者数は7名（前年度比▲2名）となり、給付費収入は154万円（前年度比▲46万円）となった。

### (3) 今後について

- 入浴設備の点検を行うとともに、箕面市と協議しながら必要に応じて設備の更新を行っていく。
- 入浴利用者に対して、ニーズを把握するとともに、必要に応じて他の社会資源の情報提供や調整を行い、居宅介護、訪問入浴サービス等への移行促進も行っていく。

### (4) 施設入浴サービス利用状況

	令和4年度	令和5年度	前年度比
実施日数	243日	243日	100.0%
利用者数	502名	385名	76.7%
利用者数/日	2.1名	1.6名	76.2%

### (1) 概要

- 大阪府登録喀痰吸引等研修機関として、実地研修及び修了申請事務を実施した。
- 令和5年度の修了者数は、延べ10名（全員が当福社会職員）であった。

## 6. 地域生活総合支援センター

＜共同生活援助事業・日中サービス支援型共同生活援助事業・短期入所事業＞

### (1) 概要

- 入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図るため、グループホームへの訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ・訪問看護を新規で3名・延べ5件導入した。これにより累計で16名が延べ34件の訪問系医療を利用することとなった。
- 新型コロナウイルス感染者の発生等はあったものの、前年度よりもグループホーム内での感染拡大を低減できた状況もあって平均利用者数は改善し、訓練等給付費収入も10,692万円（前年度比+403万円）となった。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	入居者の高齢化・重度化への対応	○入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図るため、グループホームへの訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリ・訪問看護を新規で3名・延べ5件導入した。これにより累計で16名が延べ34件の訪問系医療を利用することとなった。
2	余暇支援の充実	○余暇活動計画や個別支援計画に基づき、グループホーム利用者に対する移動支援を年間で389件、1,954件（前年度比+83件、+525時間）実施した。5月からの新型コロナ5類移行に伴い、地域の季節イベント等がコロナ禍以前のように開催されるようになったことで利用件数、派遣時間ともに大幅な増加となった。
3	世話人との連携強化	○前年度に引き続き、サービス管理責任者の月1回以上のグループホーム訪問や電話・メールでの連絡を継続的に実施した。 ○世話人会議をほぼ毎月オンラインで開催し、情報共有や研修を行った。
4	虐待防止・サービスの質の向上に向けた取り組み	○チェックリストに基づく虐待防止セルフチェックを8月と2月に実施した。また、結果をもとに改善計画を作成し、研修実施などにより次のセルフチェックでの改善につなげた。 ○12月～3月に法人全体で開催した虐待防止研修に17名の職員が参加し、グループワークを通して不適切な支援などについて考える機会を設けた。 ○前年度の事故・ヒヤリハット内容を分析し、9月の虐待防止・サービス向上委員会で報告するとともに職員間で共有した
5	支援者の確保	○登録職員9名、派遣職員5名を新たに確保した。
6	利用率向上・収入増に向けた取り組み	○365日運営を行っていない3つのグループホームにおいて祝前日運営を計6日間行い、延べ60名が利用した。（前年度8日、延べ74名利用） ○5月連休時や年末年始における1日あたりの平均宿泊者数は13.3名（前年度比+1.1名）となった。 ○4つのグループホームにおいて、新型コロナ陽性者が入居者延べ7名・職員延べ3名発生したため、訪問系医療事業者とも連携を取りながら陽性者支援を行った。 ○新型コロナウイルス感染者の発生等はあったものの、前年度よりもグループホーム内での感染拡大を低減できた状況もあって平均利用者数は改善し、訓練等給付費収入も10,692万円（前年度比+403万円）となった。
7	再編・再整備計画の立案	○各ホームの集約化等について検討・物件探しを行ったが、適当な物件の確保には至らなかった。

### (3) 今後について

- 入居者の高齢化・重度化による通院負担の軽減や緊急時の医療連携強化を図っていくため、訪問系サービスや医療系サービスとの連携・活用をさらに進めていく。
- 重度障害者支援加算算定に向けて、職員の資格取得を推進していく。
- グループホームの集約や再整備について引き続き検討・実施していく。

### (4) 在籍者状況（令和6年3月31日現在）

#### ①第2つながりの家

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和5年度	28名	49.8歳	90.9%	23.5人
令和4年度	28名	48.8歳	85.7%	22.4人

令和5年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	5名	7名	9名	5名	2名	0名

#### ②第11つながりの家

	在籍者数	平均年齢	平均利用率	平均利用人数
令和5年度	8名	52.5歳	96.6%	7.7人
令和4年度	8名	51.5歳	91.6%	7.3人

令和5年度利用者 障害支援区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1
	0名	7名	1名	0名	0名	0名

短期入所利用状況	年間延べ利用者数
	0名

## 6. 地域生活総合支援センター

＜居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援事業＞

### (1) 概要

- 第9つながりの家利用者4名が新たに居宅身体介護を利用開始したこと、居宅介護の有資格者を新たに6名確保できたことで、居宅介護の年間提供時間は4,152.5時間（前年度比+621時間）となった。
- 新型コロナ5類移行に伴い積極的に外出を計画したことから、移動支援の年間の提供回数は435回、提供時間は2,304.5時間（前年度比+65回、+446.5時間）となった。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	GHにおける居宅介護サービスの充実	○第9つながりの家の利用者4名が新たに居宅身体介護を利用開始したこと、居宅介護の有資格者を新たに6名確保できたことで、年間の提供時間は4,152.5時間（前年度比+621時間）となった。 ○通院等介助の契約者は19名で、グループホーム利用者への訪問医療、訪問介護の導入が増加したことで通院機会が減少し、年間の提供時間は343時間（前年度比▲2.5時間）となった。
2	GHにおける余暇支援の充実	○新型コロナ5類移行に伴い積極的に外出を計画したことから、移動支援の年間の提供回数は435回、提供時間は2,304.5時間（前年度比+65回、+446.5時間）となった。 ○グループホーム利用者に対する移動支援の提供時間は、余暇活動計画や個別支援計画に基づき、提供回数389回、提供時間1,954.5時間（前年度比+83回、+525.5時間）となった。
3	登録ヘルパー等の確保・育成	○男性1名、女性2名の登録ヘルパーを確保した。
4	有資格従事者の確保・育成	○男性4名、女性2名の有資格ヘルパーを確保した。 ○登録ヘルパーに年間2回、「虐待防止」「ヒヤリハットの報告方法」をテーマにした研修会を実施した。
5	収入増に向けた取り組み	○居宅身体介護4名、移動支援1名と新たに利用契約した。 ○居宅介護の介護給付費収入は3,202万円（前年度比+538万円）であった。 ○移動支援の介護給付費収入は553万円（前年度比+94万円）であった。

### (3) 今後について

- グループホーム入居者のニーズ把握に努め、ニーズを満たす支援計画を提案、安全に配慮しながら実施していく。
- 有資格従事者を確保し、提供時間の増加につなげていく。

### (4) ヘルパー派遣状況（令和6年3月31日現在）

単位：時間

	居宅介護				同行援護
	通院等介助			身体介護	
	(身体介護なし)	(身体介護あり)	合計		
令和5年度	65.5	277.5	343.0	4,152.5	208.5
令和4年度	73.0	272.5	345.5	3,531.5	170.0

	移動支援		
	I類	II類	合計
	(身体介護なし)	(身体介護あり)	
令和5年度	1,976.0	328.5	2,304.5
令和4年度	1,708.5	149.5	1,858.0

## 6. 地域生活総合支援センター〈相談支援事業〉

### (1) 概要

- 福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,463件（前年度比+61件）の相談に対応した。
- 一般相談から計画相談への移行にて新たに6名と利用契約を行った。一方、利用者の逝去により3名の計画相談を終了した。これにより年度末時点での利用契約者数は116名（前年度比+3名）となった。
- 一般相談にて関わった在宅生活の利用者のなかで就職希望者2名について、就労移行支援および就労継続支援A型の利用へと繋げることができた。

### (2) 重点項目・課題解決の状況

	計 画	実施結果
1	支援内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人・家族の生活状況等を踏まえて、モニタリング期間（間隔）の変更を3名に対して行った。（短縮したケース：3名）</li> <li>○一般相談にて関わった在宅生活の利用者のなかで就職希望者2名について、就労移行支援および就労継続支援A型の利用へと繋げることができた。</li> </ul>
2	困難事例への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族の死去に伴い今後の生活スタイルに関して自身で判断（成年後見人と共に）する必要が生じたケースについては、課題整理のための会議やモニタリングなどの機会を通じて方向付けできるように進めた。</li> <li>○虐待事例（疑い含む）2名のうち、1名は引き続き家族間の様子の確認や日中活動先との情報共有のもと、家族との適度な距離感を持てるようにサービス等の調整を行った。1名は物理的に距離感を保てるようにグループホームの利用を進めたが本入居には至らず、定期的に短期入所を利用することで家族との距離感を保つようにした。</li> <li>○家族の高齢化・入院等に伴い、家族に代わって関係機関と調整するケースは増加傾向にあり、引き続きその対応を行った。（継続的には2名）</li> </ul>
3	箕面市基幹相談支援センター、市内各事業所（委託相談、特定相談）との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基幹相談支援センターから依頼のあったケースについて、面談等に行きするとともに直接的対応（当事業所が計画相談として継続して対応）または間接的対応（他事業所に計画相談を引き継ぐとともに協力して対応）を行った。</li> <li>○相談支援従事者研修のインターバル研修について、依頼を受けてスーパーバイズの対応を行った。（初任者研修：1名、現任研修：1名）</li> </ul>
4	支援の質的向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多職種連携を必要とするケースへの実践（介護支援専門員等との連携）を通じて知識・経験を蓄積し、今後の事例に活かせるように努めた。</li> <li>○強度行動障害の利用者に対し、適切な評価をしてサービス等の計画を作成するため、前年度に続いて相談支援専門員1名が「強度行動障がい支援者養成研修（基礎・実践）」を修了した。</li> </ul>
5	相談支援専門員の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談支援専門員資格に係る「初任者研修」は、選に漏れたため1名の受講には至らなかった。</li> </ul>
6	業務体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非常勤専従職員を1名補充して、合計3名体制で相談支援業務を行った。</li> </ul>
7	収入増に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉サービスの利用、健康・医療、家族関係・人間関係に関する相談を含め、1,463件（前年度比+61件）の相談に対応した。</li> <li>○一般相談からの移行にて新たに6名と計画相談の利用契約を行った。一方、利用者の逝去により3名の計画相談を終了した。これにより年度末時点での利用契約者数は116名（前年度比+3名）となった。</li> <li>○利用者本人の状況やサービス等利用時の状況を直接確認するため、個々人の状況に応じて訪問を行った。これによりモニタリング316件のうち42件においてモニタリング加算を算定した。また、ケースに応じて担当者会議を5件開催して担当者会議加算を算定した。</li> <li>○計画相談支援給付費収入は675万円（前年度比+56万円）となった。</li> </ul>

### (3) 今後について

- 重層的支援体制のなかでの多機関連携がますます重要となってくるため、相談支援事業所同士のヨコの繋がりはもとより、箕面市自立支援協議会などの機会を通じて顔の見える関係づくりに努めていく。
- 困難事例への対応については、関係機関と連携し多様な観点からの生活支援策を中心に検討していく。
- 相談支援の利用契約者のモニタリングに関して、計画通りに実施できるよう相談支援システムを活用して進捗管理を行っていく。

### (4) 相談状況（令和6年3月31日現在）

#### ①相談経路別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
訪問	37 ( 0 )	167 ( 0 )	127 ( 0 )	22 ( 0 )	353 ( 0 )
来所	1 ( 0 )	79 ( 0 )	68 ( 0 )	10 ( 0 )	158 ( 0 )
同行	1 ( 0 )	27 ( 0 )	16 ( 0 )	2 ( 0 )	46 ( 0 )
電話	13 ( 0 )	415 ( 0 )	328 ( 3 )	66 ( 0 )	822 ( 3 )
電子メール	3 ( 0 )	18 ( 0 )	6 ( 0 )	4 ( 0 )	31 ( 0 )
個別支援会議	0 ( 0 )	5 ( 0 )	7 ( 0 )	0 ( 0 )	12 ( 0 )
関係機関	0 ( 0 )	1 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )	3 ( 0 )
その他	3 ( 0 )	21 ( 0 )	14 ( 0 )	0 ( 0 )	38 ( 0 )
合計	58 ( 0 )	733 ( 0 )	568 ( 3 )	104 ( 0 )	1,463 ( 3 )

※（ ）内は児童の相談件数

#### ②相談内容別

単位：件

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	合計
福祉サービスの利用	21 ( 0 )	456 ( 0 )	408 ( 3 )	75 ( 0 )	960 ( 3 )
障害・病状の理解	6 ( 0 )	52 ( 0 )	45 ( 0 )	12 ( 0 )	115 ( 0 )
健康・医療	1 ( 0 )	86 ( 0 )	42 ( 0 )	3 ( 0 )	132 ( 0 )
不安解消・情緒安定	0 ( 0 )	54 ( 0 )	24 ( 0 )	8 ( 0 )	86 ( 0 )
家族関係・人間関係	7 ( 0 )	45 ( 0 )	26 ( 0 )	2 ( 0 )	80 ( 0 )
家計・経済	13 ( 0 )	7 ( 0 )	9 ( 0 )	3 ( 0 )	32 ( 0 )
生活技術	8 ( 0 )	25 ( 0 )	5 ( 0 )	1 ( 0 )	39 ( 0 )
就労	0 ( 0 )	3 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	4 ( 0 )
社会参加・余暇活動	2 ( 0 )	2 ( 0 )	1 ( 0 )	0 ( 0 )	5 ( 0 )
権利擁護	0 ( 0 )	3 ( 0 )	2 ( 0 )	0 ( 0 )	5 ( 0 )
その他	0 ( 0 )	0 ( 0 )	5 ( 0 )	0 ( 0 )	5 ( 0 )
合計	58 ( 0 )	733 ( 0 )	568 ( 3 )	104 ( 0 )	1,463 ( 3 )

※（ ）内は児童の相談件数

## 7. 事故・苦情・ヒヤリハット等の状況

### (1) 苦情解決システムに基づく対応

苦情解決システムに基づき対応した事案はなかった。

### (2) 事故・苦情・ヒヤリハットの取りまとめ状況

#### ①事故

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
誤薬・誤飲	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
	地域生活総合支援センター	13件	内容 与薬忘れ、誤薬 原因 確認不足	与薬確認の徹底
合計		14件		

怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	4件	内容 打撲、擦過傷、転倒 尻もち 原因 職員の不注意、利用者の状況把握不足、環境不備	安全配慮の徹底 環境整備
	わんすてっぷ	2件	内容 転倒 原因 利用者の状況把握不足	安全配慮の徹底 機能訓練の継続
	ささゆり園	2件	内容 擦過傷、骨折 原因 職員の不注意、環境不備 利用者の状況把握不足	安全配慮の徹底 環境整備
	地域生活総合支援センター	2件	内容 打撲、捻挫 原因 職員の不注意、環境不備 利用者の状況把握不足	安全配慮の徹底 環境整備
合計		10件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
他傷行為による怪我	あかつき園・ワークセンターささゆり	9件 (うち対職員3件)	内容 蹴る、引っ掻く 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
	地域生活総合支援センター	1件	内容 掴みかかる 原因 安全配慮不足 利用者の状態把握不足 障害特性	利用者の心的状態の適切な把握 安全配慮の徹底 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
合計		10件		

自傷行為による怪我		0件		
合計		0件		

器物損壊	地域生活総合支援センター	1件	内容 義歯の破損 原因 職員の不注意	丁寧な取り扱いの徹底
合計		1件		

無断外出 (所在不明)	あかつき園・ワークセンターささゆり	1件	内容 所外活動時の所在不明 原因 利用者の所在確認不足	安全配慮の徹底 利用者の心的状態の適切な把握
	地域生活総合支援センター	1件	内容 入居者の無断外出 原因 入居者の状態把握不足	入居者の心的状態の適切な把握 環境整備 障害特性に関する支援スキルの向上
合計		2件		

内容	部署	件数	主な内容・原因	対応策
車両事故	あかつき園・ワークセンターささゆり	5件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
	ささゆり園	1件	内容 対物接触 原因 確認不足	安全運転の徹底
合計		6件		

その他	(あかつき園・ワークセンターささゆり)			
	・送迎漏れ			1件
	・体調急変に伴う救急搬送			1件
	・給食異物混入			1件
	(ささゆり園)			
	・注入チューブ装着誤り			1件
	・酸素ボンベ交換時の流量設定操作誤り			1件
	・利用者の持ち物破損			1件
	・給食異物混入			1件
	(地域生活総合支援センター)			
	・入居者の金銭・私物紛失			2件
	・郵便物の誤送付			1件

## ②苦情

部署	件数	内容	原因	対応策
あかつき園・ワークセンターささゆり	6件	利用者の所持金管理に関するもの 健康支援に関するもの 個人情報の取り扱いに関するもの 情報提供に関するもの 送迎に関するもの	職員の確認不足 職員の情報共有・引継ぎ不足	情報共有の徹底
地域生活総合支援センター	1件	入居者の備品管理に関するもの	職員の情報共有不足	情報共有の徹底
合計	7件			

### ③ヒヤリハット

部署	件数	内容	件数内訳
あかつき園・ワークセンター ささゆり	132件	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自傷行為・他傷行為に至る恐れがあった事案</li> <li>* 器物破損の恐れがあった事案</li> <li>* 怪我する恐れがあった事案</li> <li>* 所在不明に繋がる恐れがあった事案</li> <li>* 転倒・転落の恐れがあった事案</li> <li>* 送迎車に乗り遅れる恐れがあった事案</li> <li>* 所持品紛失に繋がる恐れがあった事案</li> <li>* 自ら施錠し閉じこもってしまう恐れがあった事案</li> <li>* 誤薬・服薬漏れに繋がる事案</li> <li>* 他者の荷物を持ち帰る恐れがあった事案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>71件</li> <li>19件</li> <li>18件</li> <li>7件</li> <li>5件</li> <li>4件</li> <li>4件</li> <li>2件</li> <li>1件</li> <li>1件</li> </ul>
わんすてっぷ	1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 怪我する恐れがあった事案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1件</li> </ul>
ささゆり園	45件	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 事故等に繋がる恐れがあった事案</li> <li>* 物品忘れ・紛失に繋がる恐れがあった事案</li> <li>* 身体症状に影響する恐れがあった事案</li> <li>* 転倒の恐れがあった事案</li> <li>* 所持品破損に繋がる恐れがあった事案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>13件</li> <li>13件</li> <li>11件</li> <li>7件</li> <li>1件</li> </ul>
地域生活総合支援センター	84件	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 利用者の日常生活に不便を与える恐れがあった事案</li> <li>* 利用者に経済的不利益を与える恐れがあった事案</li> <li>* 怪我する恐れがあった事案</li> <li>* 身体症状に影響する恐れがあった事案</li> <li>* 現金帳の金額に誤差が生じる恐れがあった事案</li> <li>* 誤薬・服薬漏れに繋がる恐れがあった事案</li> <li>* 利用者の予定に変更を生じさせる恐れがあった事案</li> <li>* 器物損壊の恐れがあった事案</li> <li>* 転倒・転落の恐れがあった事案</li> <li>* 火災に繋がる恐れがあった事案</li> <li>* 所在不明に繋がる恐れがあった事案</li> <li>* 誤飲食に繋がる恐れがあった事案</li> <li>* 利用者が不穏になる恐れがあった事案</li> <li>* 事務作業に支障をきたす恐れがあった事案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>18件</li> <li>11件</li> <li>9件</li> <li>9件</li> <li>8件</li> <li>8件</li> <li>5件</li> <li>5件</li> <li>3件</li> <li>3件</li> <li>2件</li> <li>1件</li> <li>1件</li> <li>1件</li> </ul>
合計	262件		

## 8. 地域参加・交流状況

### (1) クリーン・みのお作戦 (主催：箕面市)

6月12日(日)開催予定

西南小学校、芦原公園、西小学校の3地区で参加予定だったが雨天中止。

### (2) あかつきまつり (主催：あかつき福祉会)

開催日 10月29日(土)  
実施場所 瀬川地区敷地内  
来場者 575名  
協力団体 6団体  
職員従事者 44名  
内容 ステージイベント、抽選会、ゲームコーナー、野菜販売  
さをり・指編み製品販売、飲食コーナーなど

### (3) みんなおいでよ運動会

(主催：西南ジャンボリー実行委員会、西南小校区青少年を守る会)

開催日 11月3日(金・祝)  
参加場所 西南小学校  
参加利用者 1名  
職員従事者 5名  
内容 運動会運営、競技参加

### (4) いきいきふれあい広場 (主催：西南小地区福祉会)

開催日 11月19日(土)  
参加場所 西南小学校  
参加利用者 2名  
職員従事者 7名  
内容 野菜販売、さをり・指編み製品販売

### (5) 西南ちいきみんな食堂 (主催：NPO法人あそびりくらぶ)

開催日 1月28日(日)  
参加場所 西南小学校  
職員従事者 4名  
内容 さをり織り体験・さをり製品作り体験

## 9. 職員研修実施状況

### (1) 法人全体研修

実施日	研修内容	参加者	講師（依頼先）
7月6日	防犯訓練	21名	箕面警察署
7月～2月 計3回	事例検討会	28名	当福社会職員
10月4～6、24日	普通救命講習	14名	当福社会職員
10月20日	摂食嚥下研修	10名	寺嶋歯科医院
12月～2月 計7回	虐待防止研修	106名	当福社会職員
1月27日	正規職員研修	16名	大阪中小企業診断士会
3月14日	腰痛予防研修	27名	当福社会嘱託作業療法士

### (2) 事業・施設別外部研修参加状況

※人数は延べ人数

部署	令和4年度	令和5年度
法人本部	8名（5件）	4名（3件）
あかつき園・ワークセンターささゆり	22名（6件）	21名（10件）
わんすてっぷ	0名（0件）	0名（0件）
ささゆり園	13名（5件）	16名（4件）
地域生活総合支援センター	19名（14件）	16名（13件）
合計	62名（30件）	57名（30件）

	研修内容
法人本部	カスタマーハラスメント研修、社会保険委員研修会、箕面市人権セミナー
あかつき園・ワークセンターささゆり	相談支援従事者現認研修、安全運転管理者講習、てんかん基礎講座、障がい等福祉従事者研修、地域の医療との連携、発達症に伴う特性と付き合い方、新任職員研修、日中活動・生産活動、就労支援部会（幹事会）、障がい児者・救護施設課程
ささゆり園	安全運転管理者講習、スーパービジョン実践者養成ゼミナール、感染症研修、箕面市人権セミナー
地域生活総合支援センター	甲種防火管理者、面接相談援助技術基礎講座、精神保健福祉業務従事者研修「ベーシック研修B」、同行援護従事者養成研修（一般課程）、同行援護従事者養成研修（応用課程）、強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）、箕面市生活困窮者自立支援推進協議会（全体会）、地域支援部会（グループホーム、短期入所）、メンタルヘルス研修（一般職）、共生・福祉のまちづくり（ソーシャルインクルージョン）研修、強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）、相談支援・就労支援セミナー、新人職員が定着し力を発揮できる人材の育て方スペシャルラーニング活用法人の新人育成の事例セミナー

※部門内研修は別途実施

## 10. 実習生受入状況

### (1) 進路支援に係る実習

施設・事業	実習元	実人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	2名	4日	卒業後の進路先の検討
	合 計	2名	4日	

### (2) その他

施設・事業	実習元	実人数	延べ日数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面学園福祉保育 専門学校	1名	1日	介護実習
	箕面市職員	4名	10日	福祉体験研修
	三恵園	1名	2日	利用者引継
ささゆり園	箕面市職員	2名	4日	福祉体験研修
	同志社大学	5名	5日	介護実習
	合 計	13名	22日	

## 11. ボランティア受入状況

施設・事業	受入内容	受入回数	延べ受入者数
法人本部	あかつきまつり	1回	9名
あかつき園・ ワークセンターささゆり	農園	7回	10名
ささゆり園	紙芝居	11回	22名
	音楽コンサート	7回	19名
	合 計	26回	60名

## 12. 視察・見学状況

### (1) 受入状況

施設・事業	視察・見学元	人数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	箕面支援学校	6名	施設見学
	千里金蘭大学	2名	施設見学
	NPOかなびの丘	5名	第三者評価
	ガラシア病院職員	4名	施設見学
	西南小学校	135名	施設見学（オンライン）
ささゆり園	喀痰吸引等研修登録機関（大阪府）	2名	定期立入検査
	NPOかなびの丘	5名	第三者評価
	箕面市職員	1名	施設見学
	ガラシア病院職員	5名	施設見学
	箕面保育園	25名	地域交流
	他事業所ヘルパー	1名	施設見学
	入職希望者	7名	施設見学
	ボランティア希望者	3名	施設見学
地域生活総合 支援センター	豊泉家チャレンジドホーム YUKI住之江	2名	施設見学
合 計		203名	

### (2) 視察・見学実施状況

施設・事業	視察・見学先	人数	目的
あかつき園・ ワークセンター ささゆり	四幸舎和会・かたやまの赤いやね	3名	施設見学
ささゆり園	医療的ケア児童宅訪問	2名	施設見学
地域生活総合支援 センター	そなえケア輪つなぎ（GH）	2名	施設見学
	あるしあ（GH）	2名	施設見学
	劇団anon（就労継続支援B型）	1名	施設見学
合 計		10名	

## 13. 講師派遣状況

施設・事業	派遣先	件名	派遣講師
地域生活総合支援センター	大阪府	相談支援従事者初任者研修 (インターバル研修におけるスーパーバイズ)	葛西 則人
	大阪府	相談支援従事者現任研修 (インターバル研修におけるスーパーバイズ)	葛西 則人

## 14. 役員名簿（令和6年3月31日現在）

### (1) 理事

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
理事長	奥村 一朗	箕面ライオンズクラブ	会員	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	石田 良美	社会福祉法人箕面市社会福祉協議会	会長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	太田 克己	箕面市民生委員児童委員協議会	会長	事業区域の福祉に通じる者
理事	吉田 功	元 箕面市職員		事業区域の福祉に通じる者
理事	長谷川 千波	箕面市健康福祉部	担当副部長	事業区域の福祉に通じる者
理事	木村 勝也	社会福祉法人産経新聞厚生文化事業団	事務局長	社会福祉事業経営の識見を有する者
理事	福田 寛久	社会福祉法人あかつき福祉会 わんすてっぷ	所長	施設管理者

### (2) 監事

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
監事	大倉 英樹	社会福祉法人慶徳会	事務局長	社会福祉事業の識見を有する者
監事	星原 講史	箕面市会計室	会計管理者	財務管理の識見を有する者

### (3) 評議員

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員	島谷 都夫	西南小地区福祉会	事業部会長	地域の福祉関係者
評議員	下司 良一	一般財団法人箕面市障害者事業団	副局長	地域の福祉関係者
評議員	樫本 浩之	社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団	業務執行理事	地域の福祉関係者
評議員	植田 恵美子	社会福祉法人息吹	理事長	社会福祉事業の経営者
評議員	亀谷 雅彦	元 社会福祉法人あかつき福祉会職員		地域の福祉関係者
評議員	木村 知也	箕面ロータリークラブ	会員	地域の福祉関係者
評議員	寛 加代	社会福祉法人あおば福祉会 瀬川保育園	園長	社会福祉事業の経営者
評議員	樫原 淳子	箕面市肢体不自由児者父母の会	会長	地域の福祉関係者

### (4) 評議員選任・解任委員会委員

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
評議員 選任・解任 委員会委員	大倉 英樹	社会福祉法人慶徳会	事務局長	監事
評議員 選任・解任 委員会委員	東 有希子	社会福祉法人あかつき福祉会 箕面市立あかつき園・ワークセンター ささゆり、地域生活総合支援センター	所長	事務局員
評議員 選任・解任 委員会委員	多田 育雄	元 NPO法人監事		外部委員

### (5) 運営協議会委員

役職	氏名	団体・職業等	役職名等	区分
運営協議 会委員	名淵 須和子	箕面手をつなぐ親の会	書記	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	久代 美津恵	箕面市身体障害者福祉会	副会長	理事長が適当と認める者
運営協議 会委員	日根 真理	箕面市西南小校区青少年を守る会	幹事	地域の代表者
運営協議 会委員	平安 幸子	箕面市赤十字奉仕団	副委員長	地域の代表者



## 16. 職員内訳

令和6年3月31日現在

部 署	正規職員	支援職員	臨時職員	合 計
法人本部	2名	3名	1名	6名
あかつき園・ワークセンターささゆり	9名	14名	33名	56名
わんすてっぷ	1名	2名	1名	4名
障害者福祉センターささゆり園	2名	10名	11名	23名
地域生活総合支援センター	4名	13名	9名	26名
合 計	18名	42名	55名	115名

注) 臨時職員数には送迎車運転・添乗等の短時間勤務職員を含み、派遣職員は含まない。  
その他、登録職員31名(実質稼働者数)